

すわみつえ通信

No.127 2020年6月8日(月)

日本共産党鴻巣市議会議員

諏訪 三津枝



連絡先 鴻巣市赤見台3-2-7
TEL: 596-9440 FAX: 507-4151
携帯: 080-5039-2785
E-mail: mi-suwa@ezweb.ne.jp
mitsue-suwa@jcom.zaq.ne.jp

WEBで

すわみつえ



ホームページで、すわみつえの政策とお約束をご紹介します。

福祉・教育最優先の街づくり 市民の声を生かし いのちとくらしを守る市政に

特別定額給付金 スピード給付進む

鴻巣市は、50,461世帯対象の特別定額給付金事業で6月3日現在、オンライン申請1,838件、郵送申請43,082件で、申請率89%。給付は42,129件(101,298人)を申請者口座に振り込みました。給付率は85.7%で、埼玉県内40市中第2位であることが行政報告されました。市役所職員の皆さんの熱意に感謝します。申請期限は8月17日までです。

また、手元に申請書が届いていない、申請したけど振り込まれない等の場合は「コールセンター」

048-5437651(平日9時~17時)
にお問い合わせください。

公共施設を利用して社会活動の参加を再開しましょう

予約システムで仮予約をし、2週間以内に使用料を窓口で支払うと本予約となりますが、コロナの状況により当面の間(8月中ぐらいを予定)、利用日の利用直前に使用料を支払うことになっています。また、利用にあたっての留意事項として「飛沫感染を防ぐため、利用者等の人数は、使用する会議室等の収容定員の半分以上に抑える」などが示されました。

多くの市民が安全に利用するためにもお互いに気をつけて社会活動をそろり再開しましょう。

6月議会始まる

6月5日(金)より6月24日(水)まで20日間の日程で、6月議会が始まりました。「コロナ禍において市民の命とくらしを守るために皆さんの声を全力で届けます。」ご意見ご要望を是非お聞かせください。

今議会に上程された議案は「コロナ対応の専決処分を承認する議案・補正予算条例改定など26議案です。市民の利便に合うものか市民目線で審議します。

初日の6月5日に正副議長辞職に伴う選挙を行い、議長に金子雄一議員(再任)、副議長に橋本稔議員が決まりました。

【議会日程】

- 6月10日(水) 本会議 (質疑・討論・採決・委員会付託)
 - 6月11日(木) 文教福祉常任委員会・まちづくり常任委員会
 - 6月12日(金) 政策総務常任委員会・市民環境常任委員会
 - 6月16日(火)・17日(水)・19日(金)・22日(月) 一般質問
 - 6月24日(水) 本会議(委員長報告・質疑・討論・採決) 閉会
- *すわみつえ議員の一般質問は、
6月22日(月) 11時頃からです。

川里中央公園・女子トイレ 出入口目隠しカーテン修繕

「川里中央公園の女子トイレ出入口の目隠しカーテンが破れている」と川里地域の市民の方からご連絡いただき、市に修繕を頼んでいました。修繕が終了し、コロナ対策で使用出来なかったグラウンドもオープンし、元気な声が響きました。



(写真右) 破れていた目隠しカーテン

(写真左) 修繕後の目隠しカーテン

(写真下) グラウンド



6月7日 撮影

俳句コーナー

眼を閉じて
ホタル飛び交う故郷に在る

瑠璃子

毎週朝 駅頭においてホットなニュース「すわみつえ通信」をお届けします。

(月)吹上駅南口 (火)北鴻巣駅東口 (水)北鴻巣駅西口 (木)吹上駅北口 (金)鴻巣駅西口

予備費10兆円 予算化し3次補正を

田村政策委員長が主張 しんぶん赤旗 6月6日付



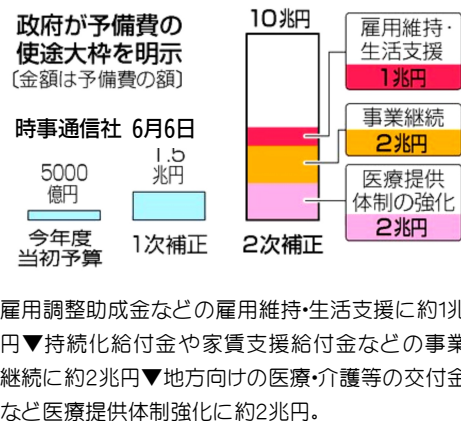
記者会見する田村智子政策委員長＝5日、国会内

どの規模の予備費を持ったことはない。5兆円は削り、第3次補正予算を速やかに編成すべきではないかと指摘。麻生太郎財務相が、長期にわたる対応のため10兆円の予備費が必要と述べたことを示し、「長期にわたるなら、国会を開いて3次補正予算を審議すべきだ」と強調しました。

日本共産党の田村智子政策委員長は6月5日、国会内で記者会見し、予算は国会の審議と議決を経なければならず、予備費10兆円は憲法に定められた財政民主主義に反すると批判してきたと指摘。政府の財政演説に盛り込むとしたことについて、「財政民主主義の観点に照らして、予備費のままではいいのかは引き続き問われる」と述べました。

また、政府・与党が内訳を認め財政演説に盛り込むことは、予備費10兆円に問題があると認めたことになると指摘。医療機関などの減収分への補てんは2次補正にも組み込まないとして、「2次補正は最初から足りないものがある」と認めている。そうである以上、少なくとも内訳で示した5兆円は国会で修正議決して盛り込むべきだと述べました。

「内閣の責任で支出すること」がで



財政民主主義に反する

国の財政運営は憲法83条で「国会の議決に基づく」と規定。その根底には、国の財政権限は主権者Ⅱ国民の負託を受けたものだという「財政民主主義」の思想があります。

きることされ、国会の事後承諾が定められています。つまり時の政権が判断すれば国会の事前承諾なしに自由に使えます。こうした例外的な位置づけだからこそ、あくまでも憲法の趣旨に反しない「限定的」な利用が求められます。専門家からは、10兆円という巨額の予備費は明らかに財政民主主義を覆す憲法違反だとの指摘が上がっています。

透ける安倍政権の思惑

安倍晋三首相は予備費での新型「コナ対策」に10兆円を積み増す理由は明確に示していません。

安倍政権はこの間、後手後手にまわる「コナ対策」や、辞職した東京高検検事長をめぐり野党から厳しい追及を受けています。そのため国会を早々に閉め、野党の攻勢から逃げ切りたいという思惑があります。2次補正に使い道を定めない巨額の予備費を積み増したのは、追加で3次補正を編成せずにすませて会期延長を避け、当分臨時国会も召集しないでいたいとの考えが透けて見えます。本心に「コナ禍で苦しむ人々の声を予算に反映させたいのなら、巨額な予備費で対応するのはなく、必要な予算項目として分配するべきです。」

<金口木舌(きんこうもくぜつ)> 火事場泥棒

江戸時代、火事が起きているのに避難せず、大八車に全財産を載せて運び出す人が多くいたという。火事場泥棒が横行していたためだ。コナ禍でマスクや消毒液をインターネットで高額転売する事例が相次ぎ、政府が規制に乗り出した。混乱に乗じて不当に利益を得ることは許されない。

▼新型コロナウイルス対策の「持続化給付金」事務事業を一般社団法人のサービスデザイン推進協議会が国から769億円で受注し、749億円で電通に再委託した。政府は20億円を振込手数料や人件費に使うと説明する。

▼布マスクの全戸配布は当初、466億円が投じられるとされたが、契約額は260億円になった。それでも「税金の無駄遣い」という印象は拭えない。妊婦用に配られた布マスクでは不良品が相次いだ。

▼税金がどのように使われているのか、不透明な点が多ければ不信感も生まれる。国民は大八車に財産を載せて、この国から逃げ出すわけにもいかない。

【琉球新報 朝刊総合面コラム「金口木舌」 6月5日】

浅草から元気を！『上を向いて歩こう』大衆演劇の竜小太郎さん 動画撮影



浅草のすしや通り 竜小太郎さん(中央)

浅草(台東区)生まれで、初代「浪花のチビ玉」として知られる大衆演劇の竜小太郎さん(45)と、浅草のイベントや宴席を盛り上げている振袖ガールズが「コロナに負けるな！」と訴える動画を浅草で撮影、ユーチューブで配信を始めた。新型コロナウイルスの影響による観光客減で打撃を受けている浅草だが、街を明るく盛り上げていこうと、浅草おかみさん会が発案した。『浅草から元気を！「上を向いて歩こう」ユーチューブ』で検索。

【東京新聞 6月5日】